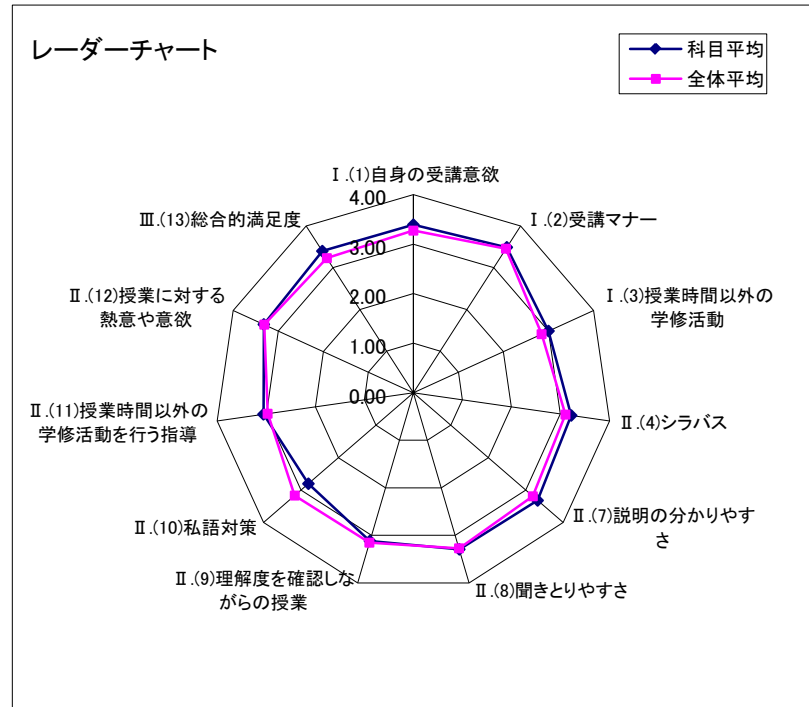
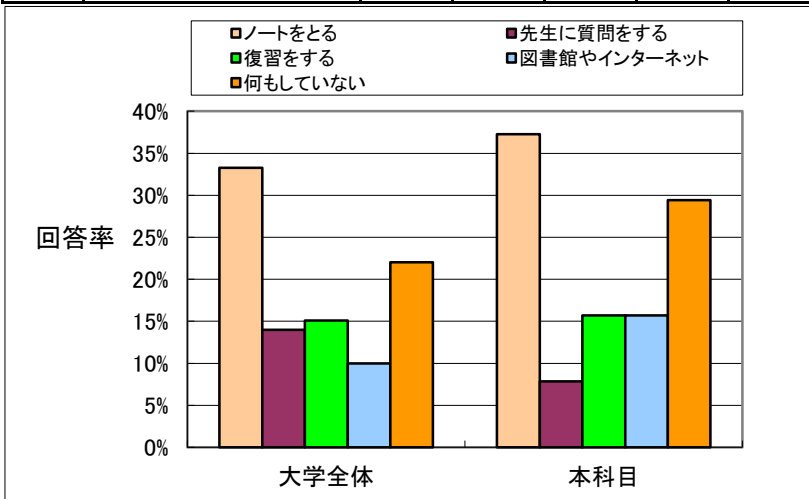


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.37	0.08	0.16	0.16	0.29



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.39	3.27
	I.(2)	3.49	3.46
	I.(3)	3.00	2.85
講義内容・方法	II.(4)	3.22	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.32	3.19
	II.(8)	3.29	3.27
	II.(9)	3.12	3.15
	II.(10)	2.80	3.17
	II.(11)	3.06	2.97
	II.(12)	3.32	3.31
	総合評価	III.(13)	3.40

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.29	3.19
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.16	3.17
総合評価 III.(13)	3.40	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	4101
科目名	地球の科学・地球科学
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスを通して授業内容や目的を提示するとともに、毎回の授業冒頭において今後の授業展開やその日の授業内容を示した。その結果、授業内容等を把握していた受講生は多かったものと思われる。ただし、「科学」の一分野として理系的な項目を取り扱う場面も多かったことから、難易度に関しては8割強の受講生が「難しい」と感じていた。必要な事項とは言え、伝え方にも工夫が必要であったと考えられる。

②授業の進め方について

声や説明の明瞭さに対しては、「やや」も含めて9割以上の受講生が「わかりやすい」と答えている。ただし、私語の多さを指摘している受講生が多く、私語対策に関しては問題がある。実際、注意をしても、授業中に私語を止めることができない受講生もみられた。他者の権利侵害であることを認識させるとともに、自分自身の不利益になることを伝える必要がある。そうした問題があるものの、「やや」を含め、9割以上の受講生が授業に満足している。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

大教室という場で有効な私語対策を講じることが、静穏な授業環境を維持する上で重要な課題と言える。授業に意識を向けるため、発問や小課題への取り組みなどの自発的な行動を促す工夫が必要であろう。プレゼン資料に板書を適宜組み合わせ、書く作業を取り入れることも必要と考える。難易度に関しては、専門用語を用いる場合、その意味を丁寧に伝え、十分に理解する時間的余裕と機会を設けることが改善につながるのではないかと考える。